

## アセットマネジメント市民シンポジウム アンケート結果

開催日：平成 29 年 6 月 10 日(土)

14:00～16:40

場所：八潮メセナ 1 階ホール

当日参加者：191人

回答者数：103人（回答率54%）

**本日お聴きいただきましたシンポジウムの内容を踏まえ、八潮市の公共施設の維持管理や整備のあり方について、あなたのご意見をお聞かせください。**

**（以下、主な意見を抜粋）**

官民と連携するということ、行政と市民が一緒になってやることの意義を感じたシンポジウムでした。アセットマネジメントという難しいですが、公共施設の再編・改築等を通じた、まちづくりなのだと認識しました。

耐震性が大幅に不足している現施設があるのは大きな問題。安全、安心で有効利用できる公共施設づくりをできるだけ早く着手した方が良いと思います。

民間サービスを施設サービスともうまく利用することで、市の負担軽減を図るべきと思います。民間サービスも地元重視で対応してほしい。

財源には限りがあるので、ぜひ効果的な公共複合型施設をスピード感をもって進めていただきたい。

管理する側も、施設を利用する側も常にただ利用だけでなく利他の精神、将来を見据え行政も市民も前進していく気持ちを持ってのぞむことが大切と思いました。このような提案を市民に出していただけたことに感謝です。すばらしい私たちのまちにしていきたい！！

真のリーディングプロジェクトは学校の最適配置であると考えます。

学校は市民にとって一番身近な施設の1つであり、多くの世代に関係している。また、学区は地域コミュニティのベースともなっており、学校を考えることは「まちづくり」を考えることに他ならない。

学校の再編・整備には、莫大な費用がかかることから、経費の縮減はもとより、経費の平準化も大きな課題である。それ以外の施設は、対処療法的な取組（耐震化・改修）で当面しのぐしかないのではないか。

施設の統廃合は今後必要であることが良く分かりました。そこで近くの施設が遠くなる可能性もあるんだなと思いました。自分の都合に合わせて希望を話してしまいそうですが、市民のみなさんが納得（自分にとってよくなる点と不都合な点がうまく融合して）できるような整備をしてほしいと思います。誰もが移動しやすいバスの整備を希望します！

※若い世代のみなさんがあまり来場してなかったのが残念

## アセットマネジメント市民シンポジウム アンケート結果

現在は十年に一度という震災地震が起きています。日頃八潮の市役所の建物は大丈夫だろうかと思っておりました。また八潮の人口が増加しております。災害に対しての様々な準備ができていでしょうが、私は障がいの子どもがいるため地震のための勉強をしまりました。今のシンポジウムを聞いて役所の建設をすることで安心しました。

市民が積極的に参加できるように意識を変えていけるかが重要。行政内部を含む縦割的な関係性に横のつながりを高めることが重要。スピード感も重要だが、関係者が十分検討して納得できるだけの時間は必要。行政の仕事が多いと思うので、もっと市民と分担できれば良いのではないか。

行政だけで考えると行政的な考えしかできない。民間からたくさんアイデア(選択肢)をもらってから考えるべし。不要な土地=すぐ売却(財源確保)は慎重に考えるべきではと思う。いずれ建設のための仮設用地にもなる。

中央に集中することなく、各地域に必要な公共施設の整備・エリアマネジメントを推進して欲しい。積極的に必要用地の購入と不用地の売却などを進めて、市長が言っている住みやすさナンバーワンのまちづくりを進めてください。

少しでも市の公共施設が市民のためになるよう、私たちも意見を出していかなければいけないと感じました。

かなり質の高いシンポジウムだったと思います。市民の意見を聞き合意形成がいかにか大事か改めて認識した。藤井先生のクローゼットの話は非常にわかりやすかった。

市民との合意形成ー市民の声を聴くことも大切だが、市としてどのようなサービスを提供していきたいかを示すことも大切だと思う。

八潮市の人口も10年後には減少が見込まれているとのことなので、今後10年間(財源が減る前)のうちに強力に公共施設の再整備を進めて欲しい。中でも庁舎と学校、児童施設が緊急性が高いと思う。

まずは、市民の意見を多く聴くことが重要であると感じました。また、整備案等の募集を鋸南町のように全国から募集するなどの仕掛けも有効なのではないかと感じました。八潮市だけではないのしょうが、公共施設を市民があまり利用していないという自治体は多数あるかと思います。市民が求める施設のあり方の把握が重要であると考えます。

官民連携は一部の民だけでなく、市民全体にPRする方法として今後事業を進めてください。現時点ではまだはつきりなくても、廣田先生の話の中であつたように、一人一人に話をする気持ちで広報について、しっかりと考えていただきたい。

## **アセットマネジメント市民シンポジウム アンケート結果**

エリアマネジメントについて大変わかりにくかった。事例をあげるなど、更にわかりやすく説明していくべきだろう。事例があり成果もあることがわかるとイメージもしやすく事業が進んでいくだろうと思う。全体を通して専門用語・カタカナが多く、わかりやすい言葉で市民に丁寧に説明するべきだと思う。

行政目的と市民目線、市民としての役割を感じました。何度も広く市民の皆様の声を聴く機会をつくって欲しいと思います。

コンパクトシティであるため、施設の集約などにより、固定資産を減らしていくことが大切だと思う。民間売却や民間への貸付により、時代に合わせた可能性のある利活用ができればよい。トップ(市長)の力強いリーダーシップを引き続き期待したい。

重要性を認識することができた。多くの市民に情報を積極的に発信するべき。

整備のあり方と併せ、市民サービスの効率化、質を下げることなくコンパクトなサービスなど、市民サービスのあり方も一緒に検討していくことも必要と思います。